

花王サステナビリティ ステートメント 102-15,102-16

花王は2018年に「花王サステナビリティ ステートメント」の見直しを行ないました。

「エコロジー」「コミュニティ」「コーポレート・カルチャー」の3つの領域において、重点取り組みテーマを選定し、花王が取り組む社会的課題を明確にしました。

サステナビリティ活動を支える理念

花王ウェイ

企業理念である花王ウェイでは「心をこめた“よきモノづくり”を行ない、世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティに貢献すること」を花王の使命としています。

この使命のもと、私たちは全員の熱意と力を合わせ、清潔で美しく健やかな暮らしに役立つ商品と、産業界の発展に寄与する工業用製品の分野において、消費者・顧客と共に感動を分かち合う価値ある商品とブランドを提供していくことを宣言しています。



→「花王ウェイ」

<http://www.kao.com/jp/corporate/about/policies/kaoway.html>

花王サステナビリティ ステートメント

これらに基づき、社会のサステナビリティへの貢献に向けた花王としての考え方や、何に取り組むのかを示した「花王サステナビリティ ステートメント」を2013年に策定しました。

サステナビリティに関する国際社会の変化や中期経営計画「K20」の達成に向け社内を進めてきた議論を踏まえ、2018年に「花王サステナビリティ ステートメント」を見直しました。社会のサステナビリティへの貢献に対する基本的な考え方をよりわかりやすく伝えており、取り組む社会的課題を明確な形で示しています。

花王サステナビリティ ステートメント

花王は、世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティ(持続可能性)に貢献することを使命としています。

私たちは、現在も、そして未来も人々の暮らしに寄り添い、

企業活動全体を通して誰もが気持ちよく暮らせる社会をめざします。

さらに、さまざまなステークホルダーと共に社会的課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

9つの重点取り組みテーマ



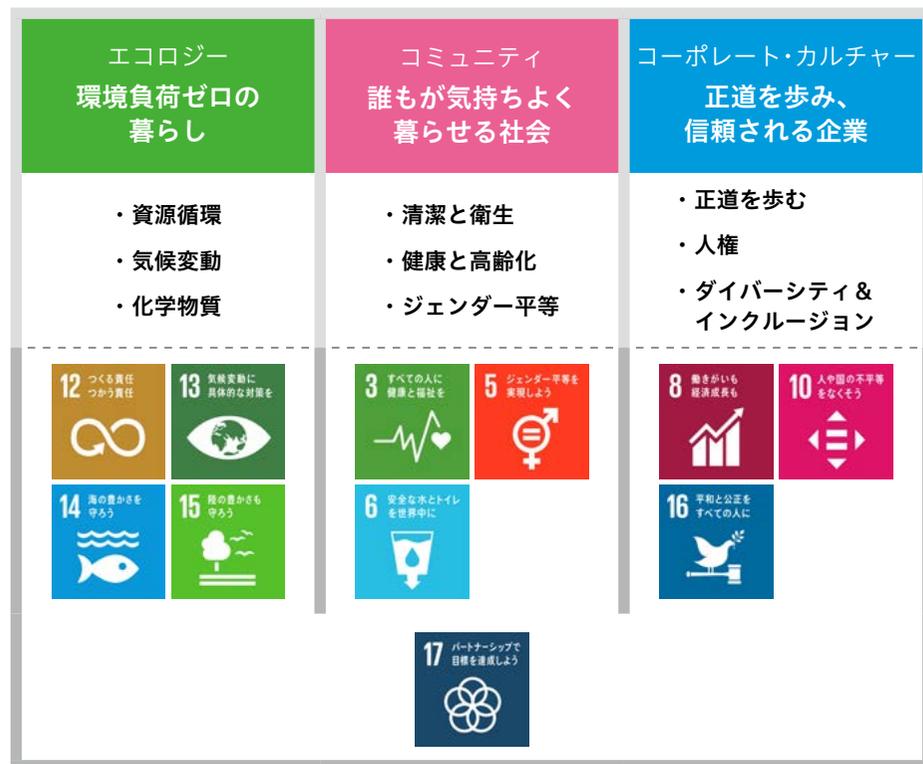
花王サステナビリティ ステートメント 102-11,102-12

SDGsへの貢献

2030年に向け、持続可能な社会を実現するための指標として国際社会で合意された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、経済、社会、環境の統合的向上を打ち出しており、企業の貢献は非常に重要であると考えられています。

花王が定めた重点取り組みテーマは、SDGsの17の目標のうち、下記の目標の達成への寄与をめざしています。

9つの重点取り組みテーマと貢献するSDGs



具体的な活動

9つの重点取り組みテーマにつき、次のような活動項目を定め、活動を推進しています。

エコロジー 環境負荷ゼロの暮らし	コミュニティ 誰もが気持ちよく暮らせる社会	コーポレート・カルチャー 正道を歩み、信頼される企業
資源循環 <ul style="list-style-type: none"> バイオマスの高度使用 プラスチック使用量の削減 水使用量の削減 リサイクルの推進 	清潔と衛生 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに向けた清潔習慣の啓発 飲食店、病院、学校、施設における衛生管理の啓発と支援 	正道を歩む <ul style="list-style-type: none"> 法令・ルールの遵守 持続可能で責任ある調達
気候変動 <ul style="list-style-type: none"> 自社活動の低CO₂化 ライフサイクルCO₂排出量の削減と削減貢献の最大化 さまざまなステークホルダーとの環境に関するエンゲージメントの推進 	健康と高齢化 <ul style="list-style-type: none"> 誰もが使いやすい製品デザインの推進 健康増進や病気予防のための情報提供や啓発 高齢者の生活を支援する製品やサービスの開発と提供 	人権 <ul style="list-style-type: none"> 人権デュー・ディリジェンスのレベルアップと対象拡大 事業に関連する人権状況改善への支援
化学物質 <ul style="list-style-type: none"> 製品ライフサイクルを通じた化学物質による人の健康や環境影響の最小化 ステークホルダーとの化学物質に関するリスクコミュニケーションの推進 	ジェンダー平等 <ul style="list-style-type: none"> 多様な人々にとって、家事を容易にする製品やサービスの提供 女性がすべてのライフステージにおいて、自信を高められるよう支援 	ダイバーシティ&インクルージョン <ul style="list-style-type: none"> 人材開発と組織開発 多様で効率的な働き方 社員の多様性 社員の健康、労働安全衛生

エコロジー

コミュニティ

コーポレート・カルチャー

ガバナンス

花王サステナビリティ ステートメント 102-29,102-46

重点取り組みテーマ選定

花王は、社内外の環境変化や社会的課題の変化を踏まえ、9つの重点取り組みテーマを選定しました。

1. 社会の状況の認識

2015年に国連総会においてSDGsが採択されました。2030年に向け、持続可能な社会の実現に向けた指標として国際社会が合意したものであり、国際社会全体が取り組むべき社会的課題であると認識されています。

2. 中期経営計画「K20」の策定

花王においても2017年に中期経営計画「K20」がスタートしました。「事業活動を通じた社会的課題の解決や社会貢献活動による“社会のサステナビリティへの貢献”と持続的な“利益ある成長”との両立により、グローバルで存在感のある会社「Kao」をめざします。」と宣言しています。

3. 課題の分析

花王は、こうした社会の変化や花王の事業計画、またステークホルダーからの期待や要請などのさまざま視点から、取り組むべき社会的課題を選定しました。

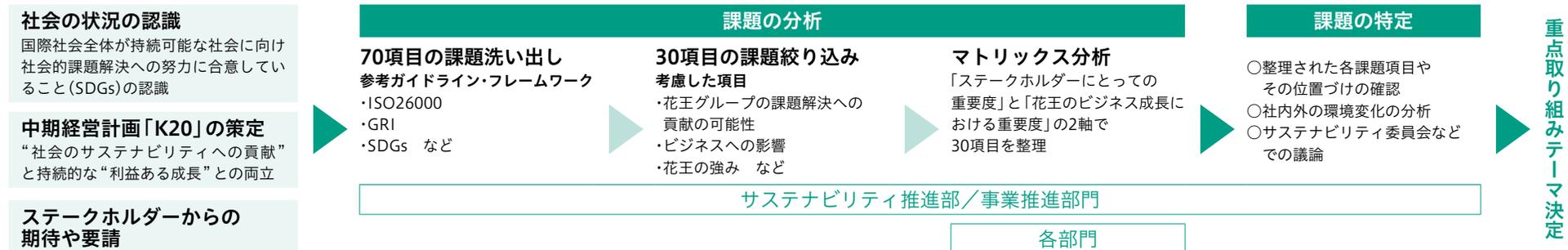
分析に当たっては、ISO26000(社会的責任に関する手引)、GRI(サステナビリティ・レポート・ガイドライン)、SDGsなど、さまざまな国際的ガイドラインやフレームワークが示す社会的課題をベースに約70項目をリストアップし、花王グループの課題解決への貢献の可能性、ビジネスへの影響、花王の強みなどを踏まえ、30項目に絞り込みました。

さらに、これらの項目を、事業部門、経営戦略、研究開発、購買、販売など社内の幅広い部門との議論と、事業成長やリスク管理、環境・社会面を踏まえ、「ステークホルダーにとっての重要度」と「花王のビジネス成長における重要度」の2軸で整理しました。

4. 課題の特定:9つのテーマを選定

整理された各課題項目やその位置づけの確認、さらには社内外の環境変化の分析、サステナビリティ委員会などでの議論を通じ、3つの領域それぞれで3つずつの社会的課題を選定し、重点取り組みテーマとしました。

重点取り組みテーマの選定プロセス



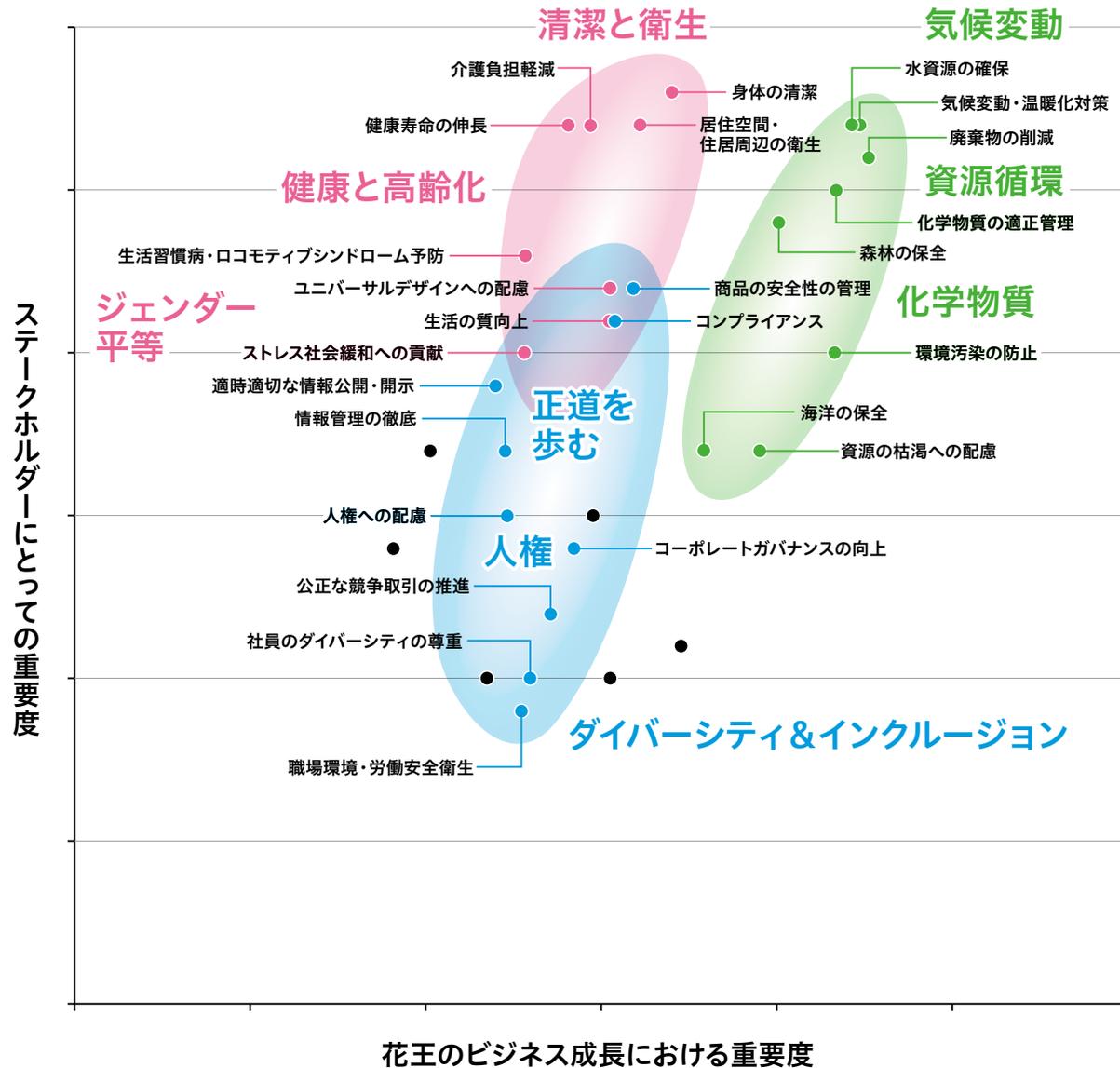
花王サステナビリティ ステートメント 102-47

エコロジーにおいては、天然資源の有効な活用や容器リサイクル、廃棄物削減などをめざす「資源循環」、温室効果ガスの削減に関わる「気候変動」、また化学物質を扱う会社としての責任を果たすため「化学物質」というテーマを選定しています。

コミュニティにおいては、1890年に発売した「花王石鹸」に示される花王グループの原点の一つ「清潔と衛生」、世界の人々の健やかな毎日を応援する「健康と高齢化」、そしてジェンダー格差の解消に貢献する「ジェンダー平等」を選定しました。

コーポレート・カルチャーにおいては、花王ウェイの基本となる価値観でもある「正道を歩む」、事業活動全体を通じてステークホルダーの人権を尊重する責任を果たす「人権」、多様な社員が能力を最大限発揮できる場を提供する「ダイバーシティ&インクルージョン」を選定しました。

重要項目マトリックス



→ Study on returns to Kao's stakeholders 2017
<http://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/global/en/sustainability/pdf/study-on-returns.pdf>
 ※2018年6月公開予定

花王サステナビリティ ステートメント 102-18,102-19,102-20,102-26

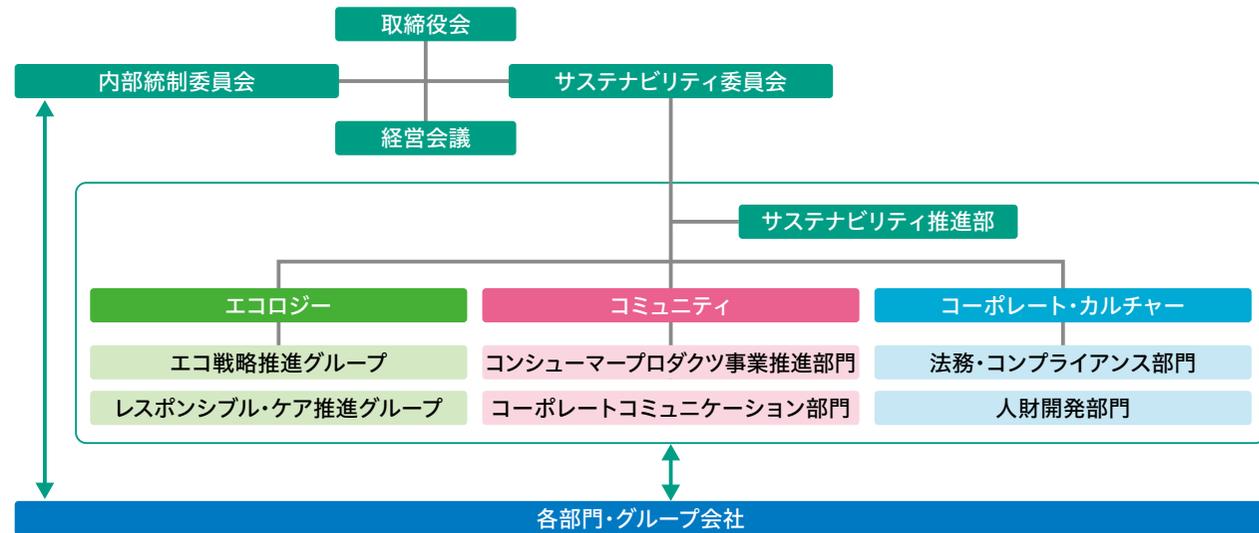
サステナビリティ推進体制

代表取締役 社長執行役員を委員長とするサステナビリティ委員会を設置して、花王グループのサステナビリティに関する活動の方向性を定めて推進しています。委員会では、必要に応じて体制の整備や推進計画の策定・更新を行ない、定期的なそれらを評価することで、グループ全体の活動も向上させています。

2017年のサステナビリティ委員会は、1月、4月、7月、11月に計4回開催しました。代表取締役3人に加え、研究開発部門、SCM部門、人財開発部門、品質保証本部、国際事業統括部門、会計財務部門、コーポレートコミュニケーション部門、経営サポート部門の各執行役員も委員として出席し、最適な花王グループのサステナビリティ方針・戦略および取り組みについて討議を行いました。

3つの重点領域においては、それぞれの担当部門が責任を持って目標を設定し、PDCAサイクルの運用により、グループ全体の活動をマネジメントしています。

サステナビリティ推進体制



エコロジー

コミュニティ

コーポレート・カルチャー

ガバナンス

花王サステナビリティ ステートメント 404-2

社員への啓発

花王サステナビリティ ステートメントに基づいた活動を進めるためには、グループ社員全員がその考え方を十分に理解する必要があります。そのために2013年の花王サステナビリティ ステートメント発表以来、さまざまなアプローチで社員への啓発活動を行なっています。

2013年からイントラネットに、花王サステナビリティ ステートメントの理解を促進する情報を掲載しています。

各部門のリーダーがサステナビリティについての考えを寄稿する「サステナビリティ リレーエッセイ」を年4回、サステナビリティに関連する社会動向や自社他社の取り組みをわかりやすく紹介する「サステナ3分ウォッチング」を毎月、掲載しています。

2015年からは、これらを海外グループ会社のイントラネットでも英語で閲覧できるようにし、グループ全体でのサステナビリティ活動推進に向けた土台づくりのため、情報共有を進めています。

人財開発部門主催の研修を通じた啓発

花王のサステナビリティの考え方は、日々の業務を行なう上で周知しておかなくてはならない事項であるとの認識から、人財開発部門が主催する各種研修のプログラムにサステナビリティの単元を組み込んでいます。

2014年より、海外へ赴任する前の海外トップマネジメント研修で、サステナビリティの講義を実施しています。2017年までに13人が個別に受講しました。

さらに2016年より、新入社員導入時研修および中途入社社員向けのキャリア研修のプログラムで、サステナビリティの講義を実施しています。2017年の新入社員導入時研修では、日本のグループ会社の4月入社社員498人が受講しました。キャリア研修は年2回実施し、9月には32人、2018年2月には47人が参加しました。

また、海外グループ会社へ入社する社員向けのグローバル入社オリエンテーションプログラムにも、サステナビリティの考え方に関するコンテンツが組み込まれています。

社内報での紹介

花王グループの全社員向けに日本語・英語併記で年4回発行している社内報「KAO FAMILY」で、社員の花王サステナビリティ ステートメントの理解に役立つ記事を掲載しています。

2013年のステートメント発表直後には、策定の背景や詳細内容の特集。2014年から毎年継続し、2017年も具体的な活動事例を紹介しました。

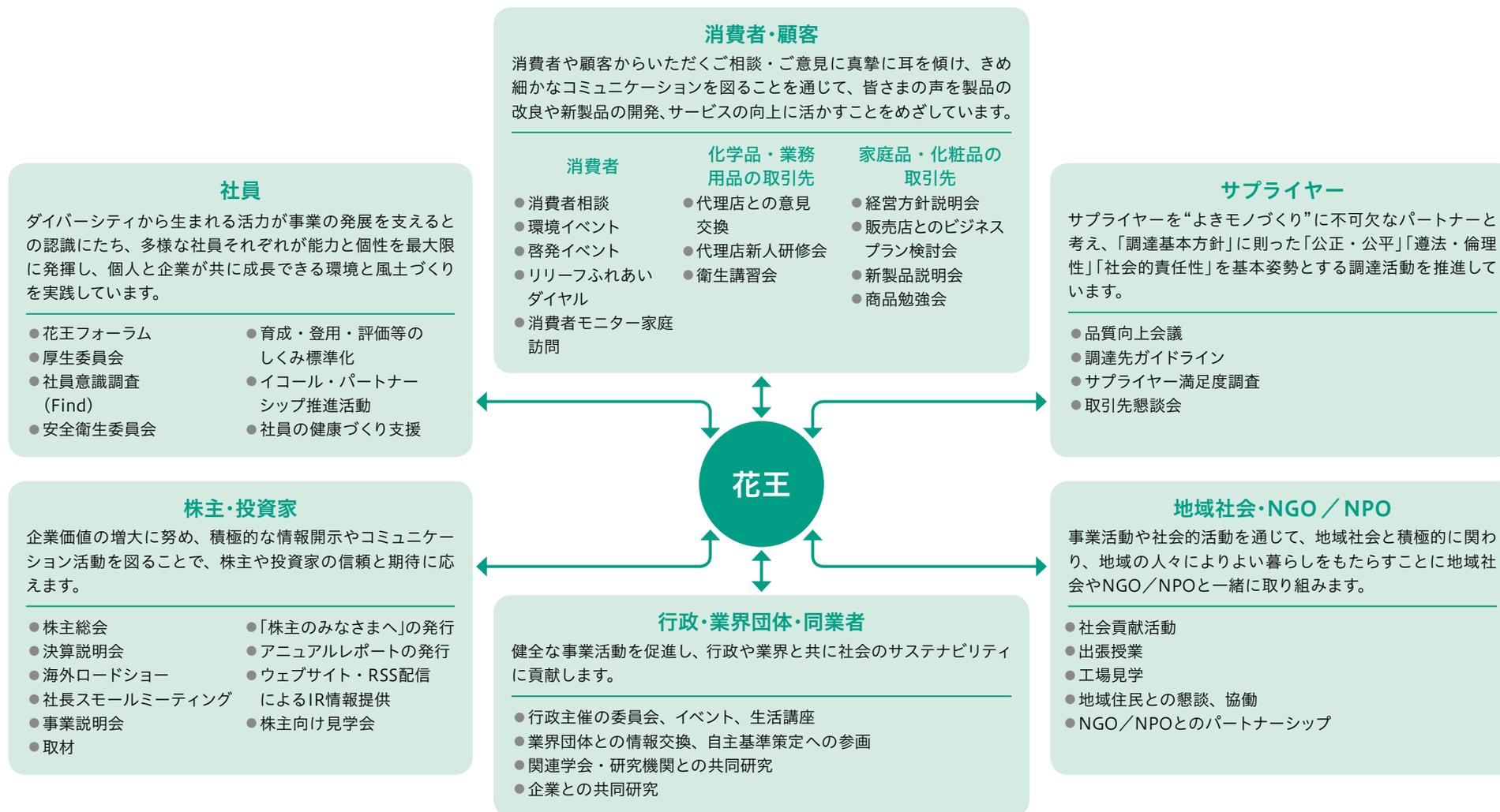


社内報「KAO FAMILY」での紹介

花王サステナビリティ ステートメント 102-40,102-43

ステークホルダーコミュニケーション

花王はステークホルダーとの対話を通じて社会の要請をより深く理解し、活動内容と目標の策定に反映しています。



エコロジー

コミュニティ

コーポレート・カルチャー

ガバナンス